NIE実践報告

１．タイトル：日本と世界とのつながりを知るために

２．学校名

静岡県浜松市立与進小学校

３．実践者名（代表者名）

小笠原　秀通

４．学年

第６学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　３５人

６．単元（本時の学習課題）名

国際理解「世界わくわく発見」

７．目標（狙い）

世界の国々の中から関心のある国についての新聞記事を集め、日本との文化の違いや日本とのかかわりについて知ることを通して、自分の考えを意見文にまとめることができる。

８．評価の視点

自分のテーマに合わせた新聞記事を選び、内容を精選して壁新聞に表すことができたか。
記事の内容に対して、自分の考えを挿入したり、テーマに対する自分なりの主張を表すことができたか。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「世界わくわく発見」１５時間のうち６時間程度

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①　外国語活動を振り返ったり、世界中の国旗を見比べたりする中で、世界には様々な国や文化があることを知り、その違いに興味をもつ。（外国語活動と連携）（２時間）
②　自分の関心のある国を選び、国土や人口、文化などの基本的なデータについてインターネットや図書などで調べる。(２時間)
③　調べた内容を日本と比較しながら整理し、そこから見つけた両国の特徴を壁新聞にまとめる。(３時間)
④　自分たちの調べた内容について発表しあうとともに、他の国の特徴についても比較する。（２時間）
⑤　新聞記事に取り上げられる国々に注目し、日本との文化の違いや日本とのかかわりについて調べながら、自分のテーマを設定し、それについての考えを壁新聞にまとめる。(６時間)

（留意点）
・自分が調べたい国でも、メディアの関心が薄い場合には記事が少なくまとめにくい。冬休みなど長期休業の際に、少しずつ記事を集めていくよう指示しておく。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

冬休みで集めてきた際には、とりあえず集めたという感じで、自分の調べたい国ばかりが先行していた子も多かったが、授業で改めて新聞に触れると時事問題に関心が高まり、非常に熱心に調べていた。

12．成果と課題

多くの新聞記事に触れることで、イランの原油問題やヨーロッパの財政危機など、毎朝耳にする国際問題に関心が高まり、その意味や背景を積極的に理解しようとする行動が多く見られた。また、一面だけでなく、大小様々な記事に注目するようになった。今後も、日常的に活用する姿勢ができるようにしていきたい。